



段ボールでも
東北の
元気な姿を
一日も早く
包みたかった。

彫刻家 杉崎正則 作「一心の塔」

おかげさまで、 レンゴー新仙台工場は 4月1日よりスタートいたします。

50余年にわたって段ボールの生産で

東北の物流を支援してきた当社仙台工場は、

昨年3月11日、東日本大震災により壊滅的な被害を受けました。

私たちは一日も早い工場再建に

全社を挙げて取り組んでまいりましたが、

その原動力となったものは、東北の復興・再生に向け、

先導役としてできる限りのことをしたいとの思いです。

そして4月1日、おかげさまをもちまして第一仙台北部中核工業団地に、

新仙台工場として新たな一歩を踏み出すことができました。

新仙台工場はリサイクルの優等生である

段ボールの生産工場にふさわしく、

太陽光発電やリチウムイオン蓄電池を導入し、

自然エネルギーを積極的に活用するなど、

環境に十分配慮した未来型の工場です。

今後は当工場が産業発展や雇用促進など、

地元経済に大いに貢献できるよう努めてまいります。

当工場の敷地内にはモニュメント「心の塔」と

記念碑「絆3・11」を設置しました。

「心の塔」はその名の通り、心をひとつにして復興へ力を合わせて

協働する人々の姿を表しており、

また「絆3・11」はレンゴー仙台工場の歴史を後世に残すための碑です。

私たちはこれから、このモニュメントを目にし記念碑に接することで、

震災への思いとそこから立ち上がる決意とを日々新たにし、

東北の今後の産業活動の拠点として、

また復興・再生のシンボルとして活動を続けてまいります。

